

自立したリーダーを育て、全ての人のウェルビーイングの向上を目指す

副校長 田中 裕司

今年度小学部を担当することとなりました、副校長の田中です。今年度もよろしくお願ひいたします。新しい年度を迎え3週間がたちました。新1年生を始め、環境に慣れるのに精いっぱいな様子の児童・生徒も見られますが、授業の内容に興味を示したり、初めての活動場所で新しい発見をしたりと、子供たちは充実した学校生活を過ごしています。4月後半は気温が25度を超える日もあり、体が暑さになれないこの時期は、早くも熱中症予防への取組を始めています。御家庭でも、体調管理に御留意ください。

先日、全校保護者会において学校経営計画を御説明いたしました。本年度、本校は、「自立したリーダーの育成」と「学校に関わる全ての人のウェルビーイングの向上」の2点を重点項目と捉え、教育活動を進めてまいります。

自立したリーダーとは、自ら考え、試行錯誤した結果、自ら答えを導き出し実行できる人であり、その意味では、誰もがリーダーになり得る、そして、これからの社会を生き抜いていくことができる、と考えました。子供たちを自立したリーダーに育てるためには、日々の教育活動の中で、学習に対して主体的に学び、教員や友達との対話を通して自分の意思や意見をもち、自ら判断し表現して、実行に移すという経験を一人一人に応じて増やしていく必要があります。周囲の大人が知識や技能を教えるのではなく、児童・生徒自らが試行錯誤して答えを導き出す経験を、様々な学習活動の中で展開していきます。

ウェルビーイングの向上とは、学校に関わる全ての人が「最良」の状態にあることを目指すことを意味しています。児童・生徒にとっては、分かる授業や楽しい学校生活の実現であり、保護者にとっては、お子さまの健やかな成長がはかれることだと考えます。また、地域や学校関係者にとっては、学校とのつながりや教育・福祉の向上に共同して取り組むことで地域が活性化されることであり、教職員にとっては子供たちの成長や自身の専門性の向上が、それぞれのウェルビーイングになると捉えています。例えば、ICT機器やデジタル教材を活用した指導の一層の充実、中学部・高等部の作業学習連携による6年間を見通した働く力の育成、高等部作業班による地域貢献活動、などを実施します。また、保護者、地域に向け広く情報発信していきます。

これらの教育活動が相互に絡み合い、積み重ねることで、児童・生徒・保護者から信頼され、地域や関係者から親しまれ、教職員が誇りや意欲をもって働くことができる学校となるようにしていきます。

七生特別支援学校に関わる全ての人が笑顔になれる、そんな学校をつくりともに進めてまいりましょう。

放課後等デイサービス事業所・学童クラブを利用している

児童・生徒の保護者の皆様へ



以下の点について、御理解と御協力をお願いいたします。

- ①各学年で下校時刻が異なります。下校時刻の連絡は、保護者様から、事業所（又は学童クラブ）へお伝えすることになっています。
- ②事業所（又は学童クラブ）とのやりとりは、事業所専用の連絡帳でやりとりをお願いします。
- ③事業所又は学童クラブの方が、学校の連絡帳を読む場合は、保護者の許可を得ることになっています。許可された御家庭は、その旨、担任に連絡帳でお知らせください。又、お便り類を入れる連絡袋は保護者の方のみが開封することになっています。